「笑わない数学者」

概要

昨晩帰宅すると学者の書斎から原稿の下書きが消えていた。家族に聞いたが他に盗られたものはないらしい、一体どういうことなのだ？

初期証拠カード「消えた原稿」に対して

学者「原稿に金銭価値など無いしわざわざ盗むようなものとは思えない」

靴磨き「原稿は知らないが路地裏に紙くずがいっぱい落ちているからそこに紛れているかもな」

商人「原稿かどうかは確認してないけど昨日学者さんとこのお子さんが酒場の方に紙束持って遊びに行くのは見たよ」

証拠カード「紙束を抱えた息子」を渡して下さい。

他「風で飛んだんじゃないか？」←巡回させれば手がかりは出るので他のNPCに話を聞きに行くよう伝えて下さい。

証拠カード「紙束を抱えた息子」に関して

記者「最近子供たちの間で飛行機遊びが流行っているようだね」

主人「この前子供たちに飛行機の折り方を教えていたんだが学者のとこの息子が小難しい数式が書かれた紙を持ってきたな、その時の紙飛行機ならここにあるから持って行っていいぞ」

証拠カード「数式の書かれた飛行機」を渡して下さい。

証拠カード「数式の書かれた紙飛行機」に関して

学者「原稿を持ちだしたのは息子だったのですね、お手数おかけしました」

真相カード「犯人は息子」を渡して下さい。

他「学者さんに教えてあげたほうがいいんじゃないのか？」←学者への誘導をお願いします。

「捩れ屋敷の利鈍」

概要

私が取り扱っている物件に悪霊が出ると噂になっているものがある、このままでは買い手がつかなくなってしまうので噂の真相を探って欲しい。

初期証拠カード「悪霊の噂」について

商人「その噂なら聞いたことがあるよ。うちの子供はお菓子を持って友達とちょくちょく近くまで行っているみたいだね、肝試し気分なんだろうさ」

学者「悪霊なんて非科学的だね」

主人「あの屋敷な、依頼主がこの前「良い物件が破格値で買えた」と酔っ払いながら言いふらしていたが悪霊が出るなんて噂流されちゃ値段下げないと買い手もつかないだろうよ」

貴族「あの屋敷は私の知人の持ち家だったのだがどうも小賢しい依頼主に二束三文で買い叩かれたらしい。売却の件は記者ぐらいなら知っているだろう、私が話すことではない」

証拠カード「買い叩き」を渡して下さい。

記者「なんでも夜中になるとだれも住んでないのに物音がするらしい。学者さんなら“科学的見解”ってやつを教えてくれるんじゃないか？」

証拠カード「夜中の物音」を渡して下さい。

靴磨き「噂は聞いたことがありますが詳しいことは知らないですね」

証拠カード「買い叩き」について

記者「元の持ち主さんの事か、急ぎで金が必要だったらしいし安値でも売り飛ばすしかなかったんだろうよ。依頼主を恨んでいるかって？彼は屋敷の一つや二つ安値で売り飛ばしたぐらいで気にするような人間じゃないよ、むしろ早く資金が集まったと喜んでいるんじゃないか」

証拠カード「円満な取引」を渡して下さい。

他「詳しいことは知らないな、記者ならそういうことに詳しいんじゃないか」←事情通の記者に誘導するような発言をお願いします。

証拠カード「円満な取引」について

全員「円満な取引ならそれでいいじゃないか」←これ以上この手がかりからは情報が手にはいらないことを伝えて下さい

証拠カード「夜中の物音」について

学者「幽霊なんて要る訳が無いだろう。夜中に物音がするのであれば誰かが夜中に屋敷内をうろついているだけの話、子供が肝試し気分で遊んでいるんじゃないのか？」

証拠カード「暗闇の中で子供」を渡して下さい。

他「誰も居ないのに物音がするなんてなんだか薄気味悪いな」←次に話を聞くNPCを言っているので誘導はなくて良いと思います。

証拠カード「暗闇の中で子供」について

商人「うちの子が毎日のように屋敷の方へ遊びに行くので不思議に思って問いただしたらあのお屋敷に忍び込んで捨て猫を飼っているんだとさ。なんでも毎日会いにいかないと夜中寂しくて屋敷内を爪でひっかきまわすらしい」

真相カード「子供たちが屋敷で飼う猫」を渡してください。

他「ちょっとわからないな、商人さんのところは確か子供が居たはずだから詳しいことを知っているかもしれないね」←商人への誘導をお願いします。

「少年の一目惚れ」

概要

学者の息子が十日前に街で見かけた少女に恋をした、少女は頭に紫のバラをあしらった髪飾りをつけていたのだがどうにか少女を探して少年と会わしてあげられないだろうか。

初期証拠カード「髪飾り」について

靴磨き「そういえば三日ほど前に君の言うのとよく似た髪飾りを拾ったぞ、見た感じ高そうなものだしお金持ちのものだろうな」

証拠カード「高価な落し物」を渡して下さい。

マスター「その髪飾りならとある服装展示会の後から急に流行りだした気がするな」

証拠カード「きっかけは服装展示会」を渡して下さい。

商人「その髪飾りなら五日前からウチで独占的に取り扱っているんだが売れ行きが好調でありがたいことだよ」

証拠カード「販売は五日前から」入手

他「最近町でよく見かけるけど詳しいことはわからないな」←他のNPCに行くよう伝えてください。

証拠カード「高価な落し物」について

貴族「これなら五日前娘に買ってやったものだよ、ほらここに娘の名前の刺繍が入っているだろう」

証拠カード「持ち主は貴族の娘」入手

他「金の刺繍が入っているしきっと高いものだろう、貴族さんならなにか知っているかもね」←貴族に行くよう誘導して下さい。

証拠カード「持ち主は貴族の娘」について

学者「そのリボンを彼女が手にしたのは五日前なのだろ？では十日前に息子が見た少女は貴族さんの娘ではないだろう」

他「貰ったものをその日になくすなんておっちょこちょいだね」←この証拠カードでは次の手がかりが出ないことを伝えてあげてください、ミスリードです。

証拠カード「きっかけは服装展示会」について

記者「五日前に開かれた服装展示会に取材しに行ったのだが、会場では服の展示のために人間と見間違うほど精巧な人形がたくさん使われていてびっくりしたよ」

証拠カード「精巧な人形」

他「詳しいことは知らないな、新聞に載っていたから記者さんなら知っているんじゃないか」←記者に

誘導して下さい。

証拠カード「販売は五日前から」「精巧な人形」の二枚を出された場合

学者「もしかすると息子の見た少女というのは展示会で使用されていた人形なのかもしれないな」

真相カード「淡い初恋」を渡して下さい。

他「それは学者さんに伝えてあげたほうがいいんじゃないか？」←学者に誘導して下さい。

カードがどちらか一枚の場合「ちょっとそれでは断定できないな、確信するためにはもっと手がかりがほしいところだ」←不十分であることを伝えてください。